

一西だより



豊川市立一宮西部小学校通信
令和7年 3月 7日 第37号
発行;校長 村上謙一

【第8回チーム担任でのいじめ発生時は大丈夫？】

…トラブルを未然に防ぐために順番に並ぶことを「指導」したり、善悪をジャッジして「ごめんなさい」「いいよ」と言わせて学びよりも解決を優先していなかったか。これを繰り返すことで、子供はトラブルの解決は大人がしてくれるということを知り、当事者意識を失うのです。…(一西だより33号より)

この記事をお読みいただいた保護者から、「いじめがあった時に、先生の指導はこれからどうなるのか知りたい」というご質問をいただきました。毎号しっかり読んでいただき大変うれしく思います。おかげさまで対話の機会が生まれ、お子様の未来像を共に語り合うことができました。その場でお話したことを今回はお伝えします。

①「チーム担任制はR8年度以降も続きますか」

A;学校評価アンケートの結果を見て判断します。さらに対象学年を広げる、現状でとどめる、対象学年を縮小する、固定的な担任制に戻す、いずれもあり得ます。まずチャレンジして、結果により修正する柔軟な姿勢です。

②「チーム担任制では、不登校児童への家庭訪問などの支援はこれまでと異なりますか」

A;これまで通り個別最適な支援をします。3人の個性で取り組みますので、よりよい支援ができると考えます。場合によっては1人が継続して対応する場合もあります。

③「チーム担任制では、いじめなどトラブルの指導はどうなりますか」

A;これまで通り個別最適な支援をします。3人の担当で情報を共有して、3人であたるのが良いか、あるいは1人で支援をするか柔軟に検討します。

④「チーム担任制では、学びポケットで欠席連絡がない時に電話での確認がありますか」

A;これまで通りです。その日の担当が電話で確認をさせていただきます。

⑤「チーム担任制では、担任の先生のわが子へのかわりが 1/3 になるのではなく、3人の先生が関わるので3倍になるという理解でよいか」

A;その通りです。ありがとうございます。

このような対話が「保護者協働」の第一歩です。

⑤の質問は学校へのエールととらえています。

【2/19 なかよしペア活動】



学年がちがう友だちといっしょにあそべるってすばらしいですね。運動場が笑顔であふれていました。



【児童会活動】

1月20日(月)、各委員会で振り返りと、本年度のしめくくりについて検討しました。

【6年生が校長室の掃除をしてくれました】

校長室にはたくさんの児童やおとなのお客がお越しになります。気持ちよく使ってもらえるよう、6年生がそうじを手伝ってくれました。



【4年生環境学習のまとめ】



2月25日(火)4年生が1年間の環境学習の成果を発表しました。学びをサポートしていただいたアイシンシロキ様、アスクネット様にもお越しいただきました。

【さわやか集会】

3月3日(月)4年生以上の児童が集まって今年1年間の児童会活動の振り返りを行いました。現状をよく見て、改めるべき課題を見つけ出す力が求められています。「ウェルビーイング」な社会はこの力がないと進んでいけません。4年生から始める環境学習も、課題を見つけることが大切です。このように考えると、児童会活動はSDGsの取組とつながっているようです。